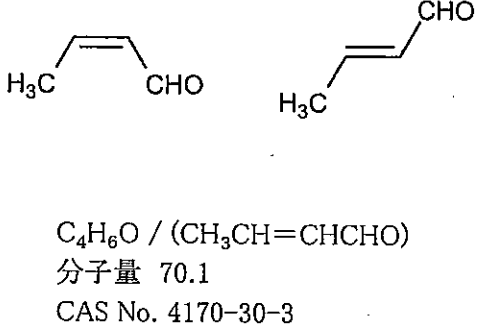


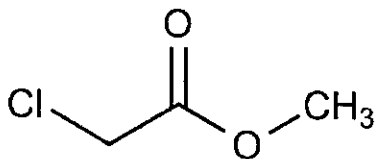
毒物に指定するもの

| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|-----------|--|---------------|--|---|---|
| クロトンアルデヒド |  <p> <chem>C4H6O / (CH3CH=CHCHO)</chem> 分子量 70.1 CAS No. 4170-30-3 </p> | 原体及びこれを含有する製剤 | 外観：特有の刺激臭のある無色の液体 沸点：104℃ 融点：-76℃ 相対蒸気密度：2.41 (空気=1) 相対比重：0.85 (水=1) 蒸気圧：3.2 kPa (25℃) 溶解性：水；18.1g/100mL (20℃) エタノール、エーテル、アセトンに可溶 引火点：8℃ (高引火性液体) 安定性・反応性： 酸、塩基と接触すると重合化；酸化剤と反応すると危険 | 原体： 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >50 ~ ≤300 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ウサギ 128 急性吸入毒性 LC ₅₀ (mg/m ³ (0.5hr), mg/L (4hr), ppm (0.5hr) (4hr)) ラット 4000mg/m ³ (0.5hr), 1400ppm (0.5hr) (⇒ 486, 495ppm (4hr)) (ガス) ラット 88ppm (4hr) (=0.26mg/L (4hr) (ガス)) 皮膚腐食性 ウサギ + 眼刺激性 ウサギ + | ブタノール、クロトン酸、ソルビン酸等の各種化学薬品及び医薬品の製造原料。樹脂及びポリビニルアセタールの製造原料。ポリ塩化ビニルの溶媒。ゴム酸化防止剤。 |

※ 急性毒性：単回投与（暴露）によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀ (Lethal Dose 50)又はLC₅₀ (Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

毒物に指定するもの

| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|----------|--|---------------|--|--|----------------------------------|
| クロロ酢酸メチル |  <p>C₃H₅ClO₂ 分子量 108.5 CAS No. 96-34-4</p> | 原体及びこれを含有する製剤 | <p>外観:特徴的な臭気のある無色の液体</p> <p>沸点:130℃</p> <p>融点: -32℃</p> <p>相対蒸気密度:3.7 (空気=1)</p> <p>相対比重:1.2(水=1)</p> <p>蒸気圧:650 Pa(20℃)</p> <p>溶解性:水;4.6g/100mL(25℃) アルコール、エーテルに可溶</p> <p>引火点:57℃(引火性液体)</p> <p>安定性・反応性: 還元剤、酸化剤と反応</p> | <p>原体: 急性経口毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット>50~≦300</p> <p>急性経皮毒性 LD₅₀(mg/kg) ウサギ 318</p> <p>急性吸入毒性 LC₅₀(ppm(4hr)) ラット 210~315(ガス)</p> <p>皮膚刺激性 ウサギ 強度の腐食性</p> <p>眼刺激性 ウサギ 重篤な損傷</p> | 医薬品(ビタミンB1・B6)、香料、農薬、界面活性剤等の溶剤等。 |

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又はLC₅₀(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

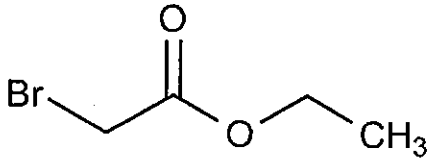
毒物に指定するもの

| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|-------------------------|--|-------------|--|---|---|
| テトラメチルアンモニウム＝ ヒドロキシド | $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+-\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_3 \end{array} \quad \text{OH}^-$ <p>C₄H₁₃NO / (CH₃)₄NOH 分子量 91.2 CAS No. 75-59-2</p> | 原体及びこれを含む製剤 | <p>外観:白色の吸湿性針状結晶</p> <p>沸点:135~140℃で分解</p> <p>融点:63℃</p> <p>相対蒸気密度:3.1 (空気=1)</p> <p>相対比重:1.0(水=1)</p> <p>蒸気圧:1.55×10⁻⁶hPa (25℃)</p> <p>溶解性:水;1000g/L(25℃) オクタノール/水 分配 係数(log P):-2.47 その他の溶解性: -</p> <p>安定性・反応性: 水溶液は塩基と強く反応。金属と触れると水素ガスを発生。</p> | <p>原体: 急性経口毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット 34~50</p> <p>急性経皮毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット 112</p> <p>急性吸入毒性 データなし</p> <p>皮膚刺激性、眼刺激性 強いアルカリ性から腐植性物質と推定</p> | 半導体及び液晶パネルのフォトリソグラフィプロセスにおいて使用。電子部品洗浄剤。触媒。試薬。 |

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又はLC₅₀(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

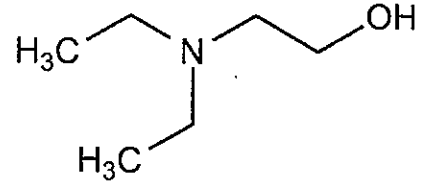
毒物に指定するもの

| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|----------|--|-------------|---|--|-----------------------|
| ブロモ酢酸エチル |  <p style="text-align: center;"> $C_4H_7BrO_2$ 分子量 167.0 CAS No. 105-36-2 </p> | 原体及びこれを含む製剤 | 外観：無刺激臭を伴う無色の液体 沸点：159℃ (他のデータ 168.5℃) 融点：-38℃ 相対蒸気密度：5.8 (空気=1) 相対比重：1.5(水=1) 蒸気圧：449 Pa(25℃) 溶解性： 水に不溶(分解する。) オクタノール/水 分配係数 (log P)：1.12(他のデータ： 0.21) エタノール、エチルエーテルに混和、ベンゼン、アセトンに可溶 引火点：48℃(引火性液体) 安定性・反応性： 水、酸、塩基と反応 | 原体： 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット>50~≤300 急性経皮毒性 データなし 急性吸入毒性 致死濃度(ppm(4hr)) <u>68(ガス)</u> 皮膚刺激性 ヒト 軽度の刺激性 眼刺激性 ヒト 重篤な損傷 | 医薬品及び農薬の製造中間体。有機合成原料。 |

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又はLC₅₀(Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物に指定するもの(濃度下限値設定により劇物から除外するものを含む。)

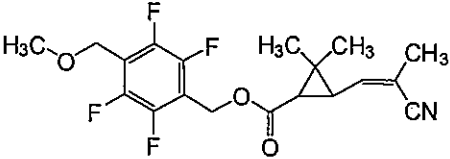
| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|------------------|--|----------------------------------|--|---|--|
| 2-(ジエチルアミノ)エタノール |  <p style="text-align: center;"> $C_6H_{15}NO / (C_2H_5)_2NC_2H_4OH$ 分子量 117.2 CAS No. 100-37-8 </p> | 原体及びこれを含有する製剤(0.7%以下を含有するものを除く。) | 外観:無色透明の吸湿性液体 沸点:163℃ 融点: -70℃ 密度:0.88g/cm ³ (25℃) 相対蒸気密度:4.04 (空気=1) 相対比重:1.02(水=1) 蒸気圧:0.19 kPa(20℃) (他のデータ:0.25 kPa(20℃)) 溶解度: 水に混和(1000g/L)、オクタノール/水 分配係数(log P):0.31(他のデータ:0.21) エタノール、エーテル、アセトン、ベンゼンに可溶 引火点:52℃(引火性液体) 安定性・反応性: 室温で安定。吸湿性。強酸、強酸化剤と反応 | 原体: 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット 1300 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ウサギ 1,100 モルモット 885(4日間適用。4時間では1000超と推察) 急性吸入毒性 LCL ₀ (mg/L(4hr)) ラット 4.5(蒸気) 皮膚刺激性 ウサギ + 眼刺激性 ウサギ 強度の刺激性~腐植性 0.7%製剤: 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >2,000 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット >10,000 急性吸入毒性 LC ₅₀ (mg/L(4hr)) ラット >4.43(ミスト)* *:理由 ・経験則から最初は空気供給量を低めに設定し、徐々に上げて濃度の適正条件を探ったが、 | 医薬品(抗ヒスタミン剤、抗マラリア剤、局所麻酔剤、鎮痛剤等)の製造原料。印刷インキ及びアゾ染料の緩衝揮発剤。燃料油のスラッジ防止剤及び分散剤。ワックス類の乳化剤。防錆剤。エポキシ樹脂の低温重合促進剤。ウレタンフォームの発砲触媒。 |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | <p>12.0L/min から 13.0L/min まで上げたところで濃度が平衡若しくは減少傾向となり、相関性が不良という結果になった。従って、13.0L/min での濃度 5.22mg/L が技術的な発生限界濃度であるとして、当該数値を目標に本試験を実施し、曝露濃度が 4.43mg/L という結果になった。</p> <p>一方、経済協力開発機構(OECD)の化学物質の試験に関するガイドライン/急性吸入毒性試験(403)中に、ミストの場合 5mg/L 又は到達可能な最大濃度が上限濃度である旨記載されており、本試験の曝露濃度設定は妥当であると判断した。</p> <p>皮膚刺激性 ウサギ ー</p> <p>眼刺激性 ウサギ 軽度の刺激性</p> | |
|--|--|--|--|--|--|

※ 急性毒性:単回投与(曝露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀ (Lethal Dose 50)又は LC₅₀ (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(曝露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物から除外するもの

| 名称 | 構造式 | 区分 | 性状 | 毒性 | 主な用途 |
|--|---|-----------------------|---|--|--------------|
| <p>2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1RS, 3SR)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート及び2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラートの混合物(2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート80.</p> |  <p>C₁₉H₁₉F₄NO₃ 分子量 385.35 CAS No. 609346-29-4</p> | <p>原体並びにこれを含有する製剤</p> | <p>外観: 白色の粉末又は小塊 融点: 71.2°C 蒸気圧: 0.055 mPa (25°C) 溶解性: 水; 2.11 mg/L (20°C) オクタノール/水 分配係数 (log P): 3.369 安定性・反応性: 通常の取扱いにおいて安定</p> | <p>原体: 急性経口毒性 LD₅₀ (mg/kg) ラット(♂) > 2,000 ラット(♀) > 300 ~ < 2,000 急性経皮毒性 LD₅₀ (mg/kg) ラット(♂, ♀) > 2,000 急性吸入毒性 LC₅₀ (mg/kg) ラット(♂, ♀) > 2 皮膚腐食性 ウサギ: - 眼刺激性 ウサギ: 極く軽度の刺激性</p> | <p>殺虫剤原体</p> |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| <p>9%以上を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート10%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート2%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1R, S, 3SR)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート1%以下を含有し、かつ、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート0.2%以下を含有するものに限る。)</p> | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀ (Lethal Dose 50)又はLC₅₀ (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。